

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 5 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束については重要事項説明書に記載されている。家族に口頭で説明して同意を得ているが「身体拘束を行う場合の対応」の文章が記載不足。センサーの使用も口頭では説明し同意をえているが書面ではもらってない。	身体拘束については利用者、家族が理解確認できるよう、書面で「身体拘束を行う場合の対応」の文章の明文化をする。	法人とも相談の上、重要事項説明書の身体拘束の項目に「身体拘束を行う場合の対応」を具体的に記載する。また、身体拘束ゼロに向けて外部研修だけでなく、職員全員が受けられるよう、内部研修の機会を定期的に行えるよう法人と一緒に計画をする。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。